

上映作品情報

『The Scrapman』



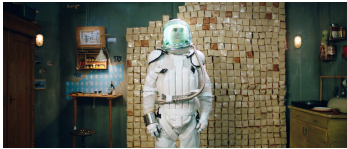
第 16 回短編部門グランプリ
Fabian Driehorst

KHM Academy of Media Arts,
Cologne

2013/ ドイツ /10 分

3人の子どもたちがスクラップマンの庭でこっそりと遊んでいると、思い描いていたよりずっと面白いものの中に入ることのできる映画ーを見つける。

『LOTHAR』



第 17 回短編部門入選

Luca Zuberbühler

Zurich University of the Arts

2013/ スイス /13 分

くしゃみで物を粉々にしてしまうローターは世界に危険を与えないために隔離された地下で閉じこもっていた。細心の注意を払っていたが、ある日彼は昔母親から貰った大切なトースターを壊してしまう。外に出ざるを得なくなったローターは…。

『Method』



第 16 回短編部門入選

Nachman Picovsky

The Sam Spiegel Film & TV
School -Jerusalem-

2012/ イスラエル /16 分

男は清めの儀式のための水風呂「ミクヴェ」へ向かう。彼は脱衣所で服を脱いで、丁寧にたたむ。彼は苦しみに満ちた魂を浄化するために、水の中へ何度も繰り返し入って、必死に自分自身を清めようとするのだ。

『Albert』



第 17 回最終審査員賞

Daniel Wawrzyniak

Lodz Film School

2014/ ポーランド /24 分

アルバート、休息の時間です、深呼吸してください。

影響を受けた監督・作品

テリー・ギリアムやフリッツ・ラング、フリードリヒ・ヴィルヘルム・ムルナウ、そして様々なアーティストの数多くの楽曲や絵画、写真から影響を受けました。

実行委員による作品講評

今さら『大列車強盗』や『自転車泥棒』の例を引き合いに出すまでもなく、映画黎明期における最もプリミティブな喜劇の形、すなわち“追いかけっこ”は、なにゆえにこうも我々を引き付けて離さないのか。本作は、実写とアニメーションを巧みに使い、おまけにフィルムへのオマージュまで捧げた秀作である。いささかシネフィルのフェティッシュに依りすぎるくらいはあるものの、それがどうした。大いに結構である。映画とは誕生以来ずっと、夢の世界のことなのだから。

影響を受けた監督・作品

ジャン＝ピエール・ジュネ監督の『アメリカ』、ポン・ジュノ監督の『TOKYO!』、ヴィットリオ・デ・シーカ監督の『自転車泥棒』、リュック・ベッソン監督の『フィフス・エレメント』

実行委員による作品講評

“悲しいはずなのに、可笑しい”
もし「くしゃみ」をする度に、身の回りにある何かが壊れたら？ まず、その発想が面白いし、さらにその発想を映像化してしまう学生が現れたのだからもっと凄い。「くしゃみ」はいつ起こるか分からない。そんな爆弾を課せられた男の健気さと悲哀が描かれるこの作品は観る者を思いがけない結末へと導く。あなたも映画館を出たあと、「くしゃみ」をする度にこの映画を思い出さずにいられなくなるはず。

影響を受けた監督・作品

この映画を撮っている最中、直接的に影響を受けたのはアンドレイ・タルコフスキーです。特に彼の『ノスタルジア』で、主人公が空のプールでロウソクをもって歩こうとするシーンでは私の映画と関連性がみられると思います。

実行委員による作品講評

ユダヤ教の精神浄化儀式をモチーフに描いた本作。俗世の醜穢に触れるたび、男は入浴を繰り返す。物語としては退屈極まりなく、場合によっては観る人に苦痛を強いるかもしれない。が、それら一切を考慮に入れた上で、不条理劇として、映像表現の多様性や可能性を示したことを評価。商業映画とは対極の表現がここにある。

影響を受けた監督・作品

フランシス・フォード・コッポラ

実行委員による作品講評

“灰色の世界で、アルバートは何を想うのか。”
文句のつけようがない映像美と世界観の造形が素晴らしい今作は、おそらく鑑賞者によって端々の解釈が異なるだろう。灰色で埋め尽くされた世界、機械的に支配された生活、意味深な巨大工場——作中の至る場所・行動に「どうして？」「なんで？」を増幅させる魅力たっぷりのエッセンスが詰まっている。実行委員内でも何通りも解釈が生まれ、観れば観るほど作品は深みを増していく。鑑賞後は是非隣の方と解釈を熱弁し合っていたきたい。それが恥ずかしければ、劇場内の映画祭スタッフまでお声をかけていただきたい。

映像学部 映像制作ゼミ課題作品

『風が吹けばキスをする』



荻颯太郎

立命館大学

2015/ 日本 /15 分

あらすじ

現代版“風が吹けば桶屋が儲かる”彼女いない歴＝年齢の大学生・吉田太郎（北川啓太）は、彼女ができるようにと神頼みをしていた。そんなある日、モテないはずの太郎に3人の女性たちから次々とキスをもとめられる状況に。はたして太郎はキスをすることが出来るのか!? いや、キスします!!!

上映前、荻颯太郎監督含む京都で活躍する学生監督によるトークセッションを行います！

アクセスマップ



公共交通機関でお越しください

- ◎各線京都駅から
市バス 50/ 快速 205/JR バスで立命館大学前
市バス 205 で衣笠駅前、徒歩 10 分
- ◎阪急西院駅から
市バス 205 で衣笠駅前、徒歩 10 分
市バス 快速 202/ 快速 205 で立命館大学前
- ◎JR 円町駅から
市バス 15/ 快速 202 で立命館大学前
市バス 204/205 で衣笠駅前、徒歩 10 分
- ◎京福電鉄龍安寺駅 / 等持院駅から徒歩 6 分

第 18 回京都国際学生映画祭について

本映画祭は、京都を中心とする関西圏の大学生が中心となり企画・運営を行う日本最大の国際学生映画祭です。学生が制作した自主映画を世界各地より集め、審査をし、各種上映イベントを企画・運営しています。多くの可能性に満ちた世界の作品の中から映画に新たな領域を加える才能を発掘・紹介することで、国際交流や相互理解の場を創出し、京都の活性化を目指します。

今年度 入選作品上映
11.21sat-27fri
京都シネマにて

会場案内

- ◎烏丸通四条下ル西側 COCON 烏丸3F
- 三菱東京 UFJ 銀行向かい
- ◎市バス四条烏丸、徒歩すぐ
- ◎地下鉄四条駅2番出口直結
- ◎阪急烏丸駅23番出口直結